

令和7年度広島県障害者虐待防止・権利擁護研修

# 広島県障害者権利擁護センターの 取り組みについて



広島県障害者権利擁護センター  
陰 茂 之

# 本日お伝えしたいこと

- 1 障害者虐待防止法の目的について
- 2 障害者虐待防止法に基づく取り組みについて
- 3 関係者の皆さまにお願いしたいこと

# 1 障害者虐待防止法の目的について

# 目的(趣旨)

**障害者に対する虐待**が障害者の**尊厳を害するもの**であり、障害者の自立及び社会参加にとって障害者に対する**虐待を防止すること**が極めて重要であること等に鑑み  
(中略)

障害者虐待の防止、養護者に対する支援等に対する施策を促進し、もって障害者の権利利益の擁護に資することを目的とする。

# 「障害者虐待」とは

- ①養護者による障害者虐待
- ②障害者福祉施設従業者等による障害者虐待
- ③使用者による障害者虐待

対象となる「障害者虐待」の類型として、

- ①身体的虐待
- ②性的虐待
- ③心理的虐待
- ④放棄・放置  
(ネグレクト)
- ⑤経済的虐待が定義されています (法第2条)

## 身体的虐待

暴力や体罰によって身体に傷やあざ、痛みを与えること  
身体を縛り付けたり、過剰な投棄によって動きを制限すること

殴る 蹴る つねる 無理やり食べ物や飲み物を口に入れる  
身体の拘束 (柱やイス、ベッドに縛りつける) 部屋に閉じ込める  
不要な薬を飲ませる 危険・有害な場所での作業を強いるなど



## 放棄・放置 (ネグレクト)

食事や排泄、入浴、洗濯などの世話や介助をしない  
長時間の放置など養護を著しく怠ること

食事や水分を十分に与えない 不潔な住環境で生活させる  
学校へ行かせない 必要な医療や福祉サービスを受けさせない  
同居人、障害者福祉施設など他の従業者、利用者、企業の他の労働者による虐待行為を放置するなど



## 性的虐待

無理やりわいせつなことをしたり、させたりすること

性交 性器への接触 裸にする キスをする  
わいせつな言葉を言う、言わせる  
わいせつな画像や映像を見せるなど



## 経済的虐待

年金や賃金などを勝手に使ったり、  
本人の同意なしに財産を処分すること

年金や賃金を渡さない  
本人の同意なしに財産や預貯金を使う  
日常生活に必要な金銭を渡さないなど



## 心理的虐待

脅し、侮辱するような言葉や態度で、  
精神的な苦痛を与えること

「バカ」「アホ」などの侮辱する言葉を浴びせる  
怒鳴る ののしる 悪口を言う 仲間はずれにする  
子ども扱いする わざと無視するなど

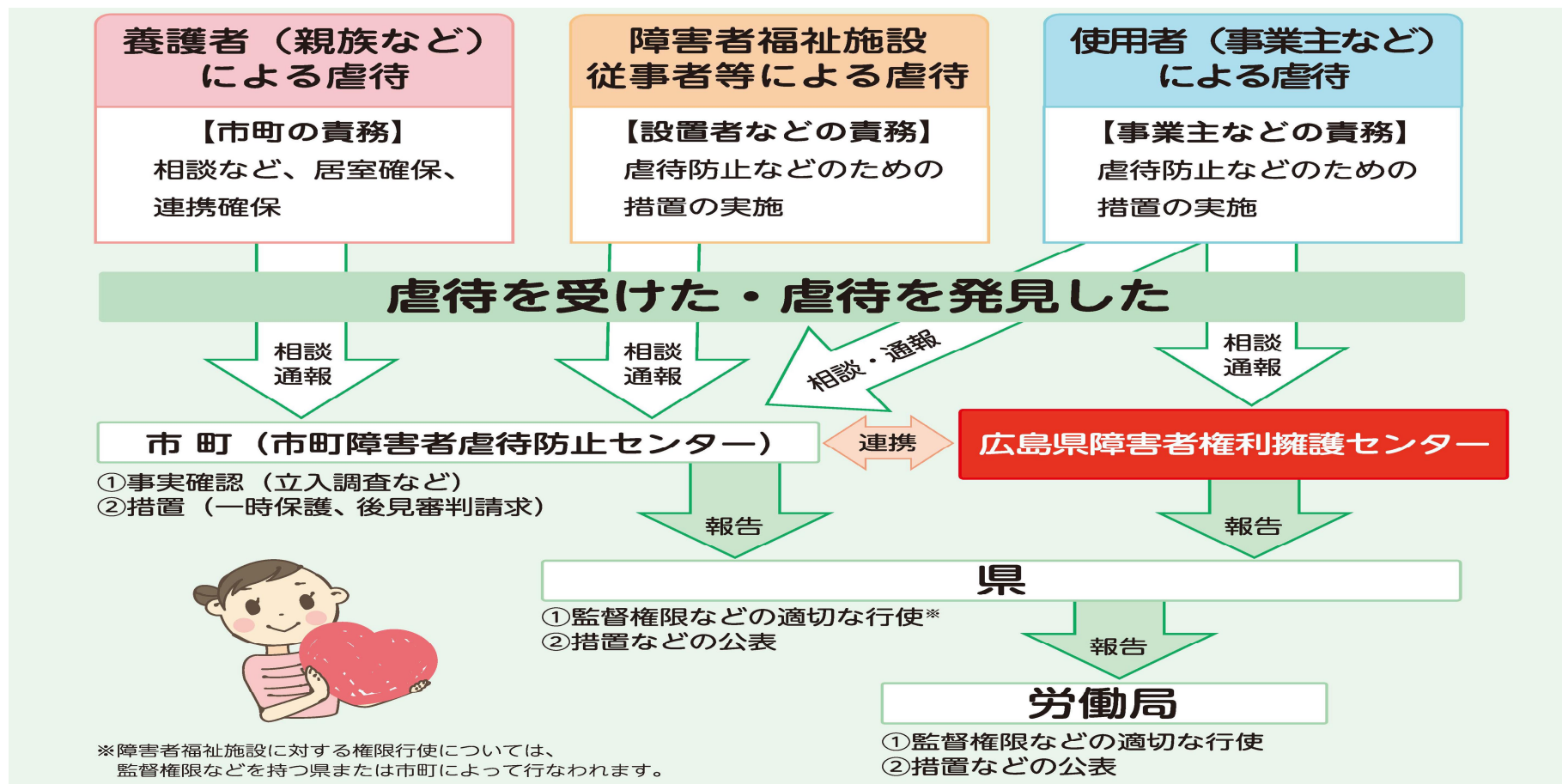


虐待はしない！  
させない！  
がまんしない！

## 2 障害者虐待防止法に基づく取り組みについて

# 障害者虐待防止法に基づく虐待防止の取り組み

障害者虐待の相談・通報先は、①市町または市町障害者虐待防止センター及び②県障害者権利擁護センターです。  
(法第32条、36条)





# 本センターにおける虐待相談等の対応について

平成24年10月に施行された「障害者虐待防止法」に基づき、主に障害ある人を雇用する使用者からの虐待の相談窓口として、広島県から県社協への委託により「広島県障害者権利擁護センター」を運営しています。

## 広島県障害者権利擁護センター

(社会福祉法人 広島県社会福祉協議会)

TEL (082) 569-5151

FAX (082) 569-6161

メール kenri@hiroshima-fukushi.net

### 〈受付時間〉

平日(月～金)：8時30分～17時30分まで

※夜間、土・日・祝日、12月29日～1月3日は

留守番電話・FAX・メールで受け付けます。

〒732-0816 広島市南区比治山本町12-2 広島県社会福祉会館内

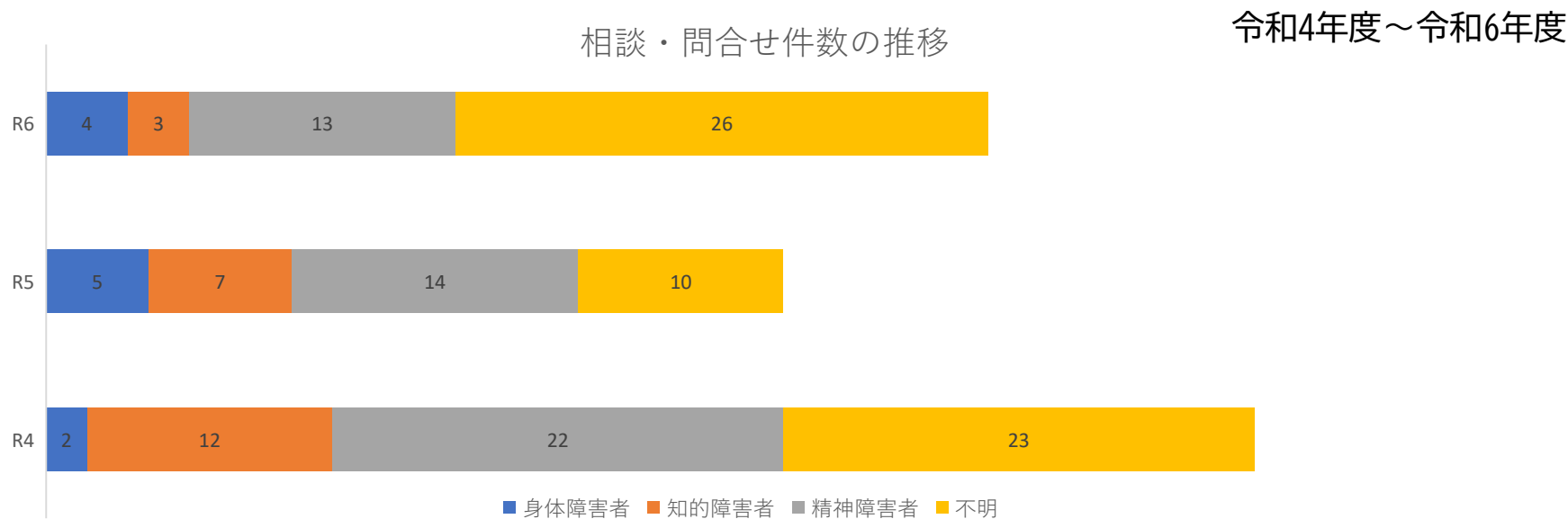




# 虐待相談等の状況について

相談内容は、使用者虐待に限らず、日常生活などに関わる多様なものとなっており、相談者の類型は精神障害の割合が比較的多い状況です。

相談内容が虐待相談に限らないため、その内容に応じて法律等の専門家や関係機関、市町の障害者虐待防止センターと連携しながら対応をすすめています。



# 本センターにおける虐待相談等の対応について

## 相談内容

※相談内容を一部加工修正し掲載

障害のある家族がいじめを受けている。  
障害者虐待ではないか。

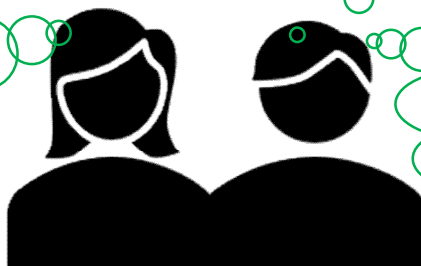
職場で明らかに他の職員との待遇が  
異なっておりほとんど仕事が  
もらえない。

上司から職場で 心理的  
虐待を受けてきた。組織  
の課題として虐待防止に  
取り組む動きにつなげて  
ほしい

施設内での職員による性的虐  
待が発覚した。

施設内での利用者への対応について  
虐待にあたる行為なのかどうか知り  
たい。

体が不自由で自力で動けない  
入居者が何度も怪我をする。  
心配なので調べてほしい。



# 虐待のサインを見逃さないで

虐待をしている人が、そのことを**自覚していなかったり**、虐待されていても**本人が言えなかったり**することがあります。

虐待を早期発見するには**虐待のサイン**を**周囲の人が見逃さない**ことが大切です。

そのために、地域住民や会社の同僚、障害者福祉施設、医療機関、警察などによる連携が大切です。



### 3 関係者の皆さまにお願い したいこと

# 関係者の皆さまにお願いしたいこと

障害者虐待防止に係る広報活動を推進しましょう。

## 【作成物】

- リーフレット（２種）
- チラシ

## 【配布先】

- 市町障害者虐待防止センター
- 広島労働局・ハローワーク
- 広島法務局
- 障害者就業・生活支援センター
- 障害者職業センター
- 特別支援学校
- 市町社会福祉協議会
- 関係機関・団体 等

施設・事業所及び  
障害者を雇用する事業主の皆さんへ

令和７年度

## 障害者虐待をなくそう

皆さんからの通報が  
障害者を虐待から守ることにつながります



私たちの周りでは、障害者の尊厳を傷つけるさまざまな虐待が発生しています。障害者に対する虐待には、障害者を養護する家族や障害者福祉施設の職員、勤め先の経営者などからの、暴力による身体的な虐待や経済的な虐待など、さまざまなケースがあります。

こうした障害者に対する虐待を防ぐため、「障害者虐待の防止、障害者の養護者に対する支援等に関する法律」（障害者虐待防止法）に基づき、市町障害者虐待防止センターや県障害者権利擁護センターが設置されています。

虐待を受けていると思われる障害者を発見した人は、お住まいの市町障害者虐待防止センターなどお近くの相談窓口にて、速やかに知らせてください。

障害者を雇用する事業主は、障害者虐待の防止などのため、次のような措置を講じる必要があります。

- ①労働者への研修の実施
- ②障害者やその家族からの苦情の処理体制の整備

障害者福祉施設の設置者及び障害福祉サービス事業者は、障害者虐待の防止などのため、次のような措置を講じる必要があります。

- ①虐待の防止などのための責任者の配置
- ②障害者やその家族からの苦情の処理体制の整備
- ③従業員への定期的な研修の実施
- ④虐待防止のための対策を検討する委員会（虐待防止委員会）を設置するとともに、委員会での検討結果を従業員に周知徹底すること

### 音声コード

Uni ボイスのアプリア、読みあげ装置を使用すると、音声で動画の情報を聞くことができます。



広島県障害者権利擁護センター

# 関係者の皆さまにお願いしたいこと■

リーフレット・チラシの活用をお願いします。

広島県社会福祉協議会ホームページ内 広島県障害者権利擁護センター

・ [あなたのまわりでこんなことがおこっていませんか？（令和7年4月版）](#)

[（別タブで開きます）](#) [（PDF：2.2MB）](#)

・ [障害者虐待をなくそう（施設・事業所等向け）（令和7年4月版）](#)

[（別タブで開きます）](#) [（PDF：1.8MB）](#)

・ [防ごう！障害者虐待（令和7年4月版）](#)

[（別タブで開きます）](#) [（PDF：4.8MB）](#)

◎障害がある人の権利・生命を守る最たるものが、「虐待防止の取り組み」です。

◎虐待「かもしれない」と思われたら、各市町センター又は広島県障害者権利擁護センターにまずはご相談ください。

「かもしれない」場合も通報義務があり、通報者・相談者の秘密は守られます。

ご清聴ありがとうございました